平成30年度　短期海外研修

国際協力のニーズ調査

総合企画部国際課　主幹　小野　文弘、主事　池田　森治
商工労働部観光誘致促進課　班長　鈴木　　真

ミーフン野菜合作社の農民

■**日　程**　平成30年8月14日（火）～20日（月）

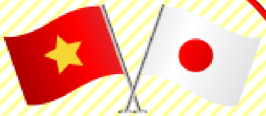
■**訪問国**　ベトナム社会主義共和国
（ホーチミン市、ダナン市、クァンナム省）

■**目　的**
○国際協力のニーズ調査
○外国人観光客誘致に向けた
・ダナン市観光局との連携調査
・現地企業のニーズ調査

■**訪問先**
○JICAホーチミン出張所、ベトナム日本人材協力インスティチュート（VJCC）、農業ハイテクパーク
ミーフン野菜合作社（南房総市事業現場）　など

○ダナン市観光局、ベトナム進出県内企業　など

【ベトナムの概要】



○平均年齢30.4歳の若い国

○対外開放を目指すドイモイ政策による高い経済成長率（2017年　6.8%）

○近年、在日ベトナム人が増加
約26万人（中国、朝鮮に次ぎ第3位）
（うち千葉県内在住　約1.5万人）

【千葉県との関係】
○ハノイ市で「下水処理場の維持管理」等のJICA協力事業を実施済

○南房総市がクァンナム省で「道の駅」を活用したJICA協力事業を実施中

■<u>調査結果</u>

①JICAホーチミン出張所：現地事情・ニーズの収集
→ベトナムでは環境・農業分野での協力事業が多い

②VJCC：ベトナム経済現状調査・現地学生との交流
→原材料・部品などの現地調達率が3割程度と低く、
　このような裾野産業の育成が急務

③農業ハイテクパーク：安全農業等について意見交換

④ミーフン野菜合作社：畑視察、農民の話合いに同席
→南房総市の技術指導（井戸やネット）で収入が3～4割増
→農民のニーズを把握し農民が自ら解決策を見出すよう誘導

⑤ミーフン野菜合作社の直売店（ダナン市）

⑥ダナン市観光局：観光客誘致について意見交換
→協力に向け意見交換を継続へ

⑦AEONMALL VIETNAM CO., LTD.：嗜好性について
→ベトナムは家族の関係性が強く、10～15人の家族で
　楽しめるプロモーションが効果的

②

③

④JICA協力事業により
設置した井戸

⑤南房総市が出店支援

⑥

⑧

⑧Chefmeat VIETNAM Joint Stock Company：観光客誘致について意見交換
→ベトナムの富裕層には、付加価値のある特別な観光メニューを用意するのが効果的

■<u>まとめ</u>

○<u>農業、人材育成などの分野</u>に潜在的な協力ニーズがあることがわかった

○ベトナム側と観光誘致の相互協力可能性が示唆された→<u>Win-Winとなる関係を探る</u>